

琵琶湖の伝統的漁法～(えり)～

滋賀県・琵琶湖



「えり」には、湖上に設けられる規模の大きなものと川や沼の葦の生えている所に設けられる小さなものがある。魚の習性を利用した「待ちの漁法」といわれ、春から夏にかけて琵琶湖の岸边には産卵のため、あるいはエサを求めて、コイ、フナ類、アユ、モロコ、その他多くの魚たちがやってくる。こうした魚たちをうまく誘導し、ついには「つぼ」と呼ばれる畳1枚の広さに満たないところへ閉じ込めてしまう定置性の漁具が「えり」である。

琵琶湖では古来より営まれてきた漁法の一つでもある。

TOPICS

・コイ甘露煮、鮒寿司、小鮎煮、モロコ炭火焼など



お問い合わせ先

滋賀県漁業協同組合連合会

TEL / 077-524-2418

URL / <http://www.eonet.ne.jp/jf-shiga/>